

木もれ日通信

Komorebi Tsushin

第72号

令和2年1月
つきだて花工房発
季刊誌

◎つきだて花工房は木もれ日のようなぬくもりとやさしさを持ち続けるみなさまの公共施設を目指します。

冷たく輝く冬日を浴びて
誰を待つのか黄色の花びら

珍しくふんわりと軽い雪が足首の上くらいまで積もった。近頃多くなつたべしやべしやの雪は始末に負えない。雪はきをするには重くて腰を痛めてしまうし、山を歩こうにも足を踏み出すたびに滑つて前に進めないのだ。それが久しぶりにつぶつぶが見えそうな粉雪だ。裏山へ遊びに行くには絶好のコンディションだ。コタツの火の番にも飽き飽きだ。身支度をし、穴蔵のような薄暗い家から表へ出た。

葉っぱの衣を脱いだ里山には木の根元まで陽の光が射し透す。遠くでさえずるジョウビタキの姿までお見通しだ。里山が一年で一番明るい季節。南向きの斜面は風も穏やかだ。

一本の大きな桜の木が見えてきた。里山には数知れない様々な木々が生い茂っている。でもその桜だけには、木々が様に葉を茂らせる季節でも見分けることができる。私にとつてのランドマークなのだ。

きつい雪の上り道と大きな期待に息を弾ませながら桜に近づく。その根元には大きな陽だまりができていて。まるで桜の木が手のひらで周りを覆っているようだ。そして一株の福寿草が、ピカピカ光る花びらで陽光を照り返しながら咲いていた。「おかえりっ」今年も無事逢えた喜びに頬が緩む。

子供たちがみんな独り立ちする

のを待ちかねたように、妻は病を得た。元々があまり丈夫ではなかったが肩の荷が下りたのか、寝付いてしまったのだ。所帯を持った頃は、少しはふつくらしていたが、子育てや好きでやっていた花や野菜作り、そして日々の生活と引き換えにだんだんと肉が薄くなつていくようだった。あまり無理するな、と強く言っても、「なに、さすけ」と、弱つていく体とは裏腹に、幸せそうに微笑むのだった。そしてある年の冬の入口、山の木の葉と一緒に彼岸へと渡って行ってしまった。

その冬、心にぽっかりと開いた穴をのぞき込むことしかできなかった私は雪が降った次の日、そう、今日のような日にフラフラと山にきた。そして出会ったのがこの一株の福寿草だった。陽射をいっぱい浴びた花はまるで私に微笑みかけるようにピカピカと輝いていた。私は時の過ぎるのも忘れて桜の根元のその福寿草に見入っていた。心の中で妻の名を呼びながら。

「今年もまた逢えたな。待ってた。子供らもみんな元気だ。…この間よ、福寿草の花言葉調べたんだ。『悲しき思い出』なんだと」頭の上で風がゴウウと鳴り、花びらがピカピカ輝いた。そう、福寿草には「永久の幸福」という花言葉もあるんだよな。



お客様ノオト

このノートはたくさんのお客様の笑顔と思い出が詰まった
つきだて花工房の宝石箱です



◆川俣精機三六会様(川俣町)

『僕たち三六会は、つきだて花工房さんとは友達以上の付き合い。だって10年以上もお世話になっているのです。今夕の料理は格別美味しかった。これから、会が解散するまでお世話になりたいと思います。今後とも宜しくお願い致します』とお話を頂きました。



◆朗読会キャスト&リーディングアラウドの会様(月舘町他)

秋の人気イベント「晩秋に贈る小さな朗読会」のキャストのみなさん、そして結成16年で今回が最後の朗読会出演となるリーディングアラウドの会の皆さんが一同に介して記念の一枚。会の皆さんにとっては新たな旅立ちとなります。これからも先生直伝の素晴らしい朗読を楽しみにしています。



◆防犯協会上保原支部様(保原町)

研修してから花工房にいらしてのお食事でした。研修やこれからの行事参加など、いろいろなお話をされて盛り上がっていらっしゃいました。

皆様の力で上保原の安全が守られる事を願っております。



◆千葉康生総監督就任25周年を祝う会様(月舘町)

月舘バレーボールスポーツ少年団総監督 千葉康生さんが監督就任25周年を迎え、現スポ少関係者とOB・OGでのレクリエーションと祝賀会を行いました。総勢50人を超え、今までの思い出話をしたり、DVD上映などをしたり、涙あり笑いありで時間を忘れる程に盛り上がりました。おめでとうございます!!



◆晦町第2育成会様

冬の育成会行事としてドライフラワーリース作りを体験されました。ドライフラワーと木の実を組み合わせ、それぞれの個性が光るリースが出来上がりました。クリスマスに花を添えられましたね。



◆市柳育成会様

ピザ焼き体験をされました。総勢37名、ピザ19枚。みんな元気で、にぎやかな体験でした。この日はダンボールオープンが飛ばされそうなくらい強風でしたが、美味しく焼けました。さすが子供は風の子元気な子!



やさい工房談話 ～だんわ～



ツッキー



わさび

皆さんこんにちは！

よかったね～、めでたく2回目を掲載してもらえて♪

え？2回目は流石に大丈夫でしょー。

でもね、前回の編集後記のインタビュー受けたでしょ？あれが全部カットだったから心配だったの…。

なるほど～。確かに！編集長の仕事だね！！

そう！！メガネ編集長の仕事！だから、私から「ガソン」と言っておく♪

「♪」が怖いからやめて下さい。3回目が無くなります。

と、言うわけで今回も「つきだてやさい工房」を紹介していきます♪

どう言う訳?? でも、ややこしくなるから進めます！

ツッキー、やさい工房の副会長さんに農家さんについてインタビューして来たんでしょ？今日は副会長さん来てないの??

インタビューしてきましたよ♪是非一緒にお誘いしたんだけど、月館町のご婦人は恥ずかしがり屋さんが多いみたいです♪

そっかー。残念だけど仕方ないね。なら、ツッキーから紹介よろしく！

わかりました！！副会長の千葉さんのお宅ではぎゅうりを中心に、いろいろな野菜栽培とお米作りをやっている専業農家さんです。毎年変わる天候や、気温の変化に合わせて、肥料を替えたり、植える日程を替えたりと45年農家を続けていても、毎日勉強と言っていました！

私たちも、もっとも～っと勉強しないとダメだね！！

そうだね～♪それでね、後は～「イノシシ」に手を焼いているみたい。やっと出来た野菜を食べられて悔しい思いをしてるんだって。

いろいろ大変な思いをして、やさい工房に納品してくれてるんだね。農家さんに感謝！

だから、皆さんもいつもの野菜としてじゃなく、ひとつひとつ手に取って野菜を見て下さいね。そしたら、農家さんの想いが見えてくる。かもしれません♪

だれかー、助けて～、ツッキーがかっこつけてますー。助けてくださ～い。寒いよ～。怖いよー。

……。

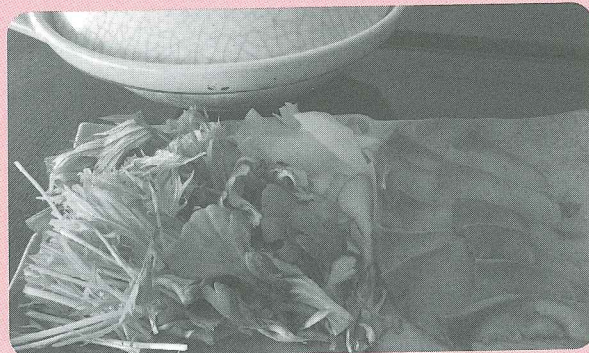
今回は、人気のみそっ子パンや、お漬物を作っている加工部さんにお邪魔したいと思います(^_^)

ではまた、73号でお会いしましょう。

季節の一品

旬の鰯を使って温かお鍋はいかがでしょう

ぶりぶりの豆乳しゃぶ鍋



—材料（4人分）—

A	B (鍋つゆ・つけダレ)
ブリ(刺身用) … お好みで※	水 …………… 300cc
水菜 …………… 1束	麵つゆ …………… 100cc
人参 …………… 1/3本	白味噌(又は味噌) …… 40g
大根 …………… 1/4本	豆乳 …………… 300cc
舞茸 …………… 1パック	
※刺身用、又は柵とりしたものを薄切りにして下さい。	C
	ポン酢(つけダレ・市販の物) …………… 適量
	万能葱(薬味) … お好みで

作り方

- ① 水菜はお好みの長さに、人参・大根は皮をむきスライサーなどで薄切りにする。
 - ② Bの鍋つゆをあわせ火にかける。
 - ③ Aの具材をしゃぶしゃぶし、Cのつけだれでいただく。
- ※ ポン酢だけでなく、胡麻たれなども合います。またもみじおろしも薬味にオススメです。

冬のお膳のご紹介



寒風吹き、外に出るのも億劫なこの時期、花工房では身も心も温まる冬のお膳をご用意いたしました。松前漬けに牛蒡とこんにゃくのあえ物、鰯を白味噌で炊いた西京煮と海老芋の味を生かした煮物の炊き合わせなど、冬の食材を生かした料理構成となっております。中でもサクッと噛んだ瞬間、白身のふわっとした食感の違いが楽しい鰯のから揚げと、伊達鶏の挽肉を田舎味噌・んにく・ショウガを合わせ煮込んだ伊達鶏そぼろ鍋は、味噌の風味の中に伊達鶏・野菜のうまみが余すことなく感じられアクセントのトマトがさらに味を引き立てます。心と体の栄養補給、花工房でしてみませんか？

つきだて町からの贈り物 30名様に地場産品が当たる

応募者の中から30名様に、つきだて町の旬の農産物詰合せが当たるこの企画、ご希望の方は、メールまたはハガキにてご応募下さい。当選発表は賞品の発送をもって代えさせていただきます。また、当選者の方には簡単なアンケートにお答え頂きます。

2月16日締め切り 2月下旬発送予定

お問合せ やさい工房事務局 024-571-1777

メール:yasai@t-hanakobo.jp

ハガキ:〒960-0903 福島県伊達市月館町下手渡字寺窪7
やさい工房 宛

日々の暮らしにハーブの香りを～ハーブ教室・今後の予定

講師：瀧田 勉先生（ハーブとスローライフの研究者）
参加費：1,850円（材料費・税込）

2月17日「ハーブスイーツ作り」

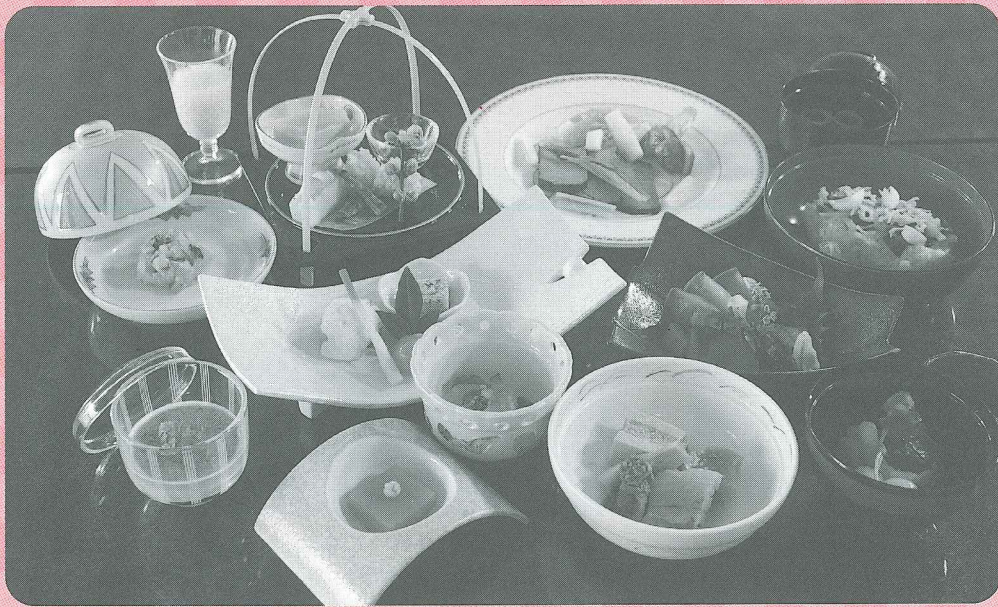
3月30日「ハーブガーデニング・シーズンスタート寄せ植え」

※ハーブ教室はご都合のつく回だけの参加も大歓迎です！お申込・お問合せ、お待ちしております。

梅見月会席

きさらぎ膳

選りすぐりの素材を使い入念に仕上げたお料理が三日間限りの一期一会の味を紡ぎ出します
大切な人大切なときのために梅見月会席「きさらぎ膳」
つきだて花工房 料理長



期間：令和2年2月19日(水)～2月21日(金)

時間：午後6時～午後9時

料金：お1人様 5,500円(税込・飲物別)
※2名様よりご予約承ります

お値打ちプライス
「会席宿泊プラン」がオススメ
会席料理+朝食付
お1人様 9,600円(税込・飲物別)
※お部屋タイプはおまかせとなります。

つきだて新緑ウォーク 開催!!

まだ少し先ですが、新緑の里山を眺めながら花工房周辺の名所・旧跡をのんびりと巡る恒例のウォークイベントを「auko」きだて新緑ウォーク」と名前を変えて開催します。今回は5kmと10kmの2コースを設定、ご自身やご家族・お仲間の体力に合わせてお選びいただけます。今回は豚汁振る舞いと花工房入浴サービスに加え、お楽しみ抽選会も開催！ぜひご参加下さい。

【開催日時】

4月29日(水・昭和の日)

午前10時スタート(午前9時より受付)

【受付会場】

つきだて交流館もりもり

【参加費】

中学生以上 700円

小学生 400円

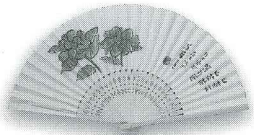
【参加申込】

つきだて花工房フロント

(1月31日より受付開始)

作品展開催のお知らせ

和田恵秀さんを講師として毎月開催しているつきだて花工房の絵手紙教室が岩瀬書店教室と合同で作品展を行います。ぜひ



ご観覧下さい。なお、絵手紙教室(毎月1回開催)では受講生を随時募集しております。

【期間】 2月19日～3月22日

午前10時～午後6時

【会場】 つきだて花工房

【観覧料】 無料

*

仲間との楽しい交流、時間を忘れて没頭できる作品作りで好評の「一貫張り教室」。先生の渡辺恵美子さんはじめ、受講生の皆さんの自慢の作品を展示する「一貫張り作品展」。それぞれに工夫を凝らした作品はみどころ満載です。

【期間】 2月24日～3月8日

午前9時～午後5時

【会場】 交流館もりもり

【観覧料】 無料

【その他】 一部の作品はご購入いただけます。

読者プレゼント!

月館の養蜂家のハチミツ

3名様に

ご応募はキーワード・氏名・郵便番号・住所・電話番号・木もれ日通信72号で印象に残った記事とご感想をお書きの上、ご応募下さい。メ切は4月25日到着分まで有効です。宛先はこちら。

【ハガキ】〒960-0903
福島県伊達市月館町下渡字寺窪7
つきだて花工房

木もれ日通信読者プレゼント係

【Eメール】flower@hanakobo.jp

タイトルに「木もれ日通信72号読者プレゼント係」とお書き下さい。

なお、当選者の発表は賞品の発送に代えさせていただきます。また、いただいた個人情報につきだて花工房が責任を持って管理・保管し、プレゼント及び当館のご案内をお送りするほか、サービス向上のために使用させていただきます。

今回のキーワードは

「フクジュソウ」

たくさんのご応募、お待ちしております！



編集後記

炭から電気のコタツにして今年。特に厳寒期はなかなか体が温まらず、炭火恋しい冬の里山...。 <つきはな>

冬の凛とした空気の中、徐々に明ける朝焼けの空。宿直明けのちょっとしたご褒美です。 <赤>

各地のイルミネーションを観に行きたいと思いつくにも関わらず、毎年同じ場所に行ってしまう私。違うイルミネーションを観に行くのはいつになる事やら...。 <由>

ストーブにかけたヤカンのお湯を、湯たんに入れ、お布団へ。朝までポカポカで幸せ。 <厚>

編集後記もめでたく載りました！載りましたよね。つきだて町からの贈り物是非応募してくださいね。 <ツッキー>

休館日 2月18日、3月10日、4月14日(全て火曜日)

2月24日(月)
3月24日(火)
4月23日(木)

2月9日(日)
3月10日(火)
4月8日(水)

ムーンセラピー 月の明かりで疲れた心を癒したい。いままぐカレンジャーにチェック!!